



～世界に誇る～
縄文文化を楽しもう！

世界的に有名な**鑄物師屋遺跡**の**土偶や土器**を最新の研究法で調べてみると、**新発見**がありました。



土器を作る際に種子などが入り込むと、焼成時に空洞になって表面にくぼみができます（矢印）。



しっかりと調べる

鑄物師屋遺跡の出土品（国重文）は日本縄文文化を代表する資料としてイギリスの大英博物館をはじめ海外で多く紹介されています。五千年以上も昔の人々の「命」に対する表現に高い関心を持たれているようです。

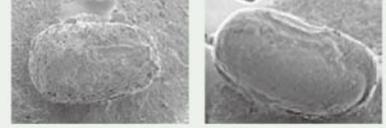
このような土偶や土器は形や文様だけでなく、とことん調べ続けることでさまざまなことがわかってきます。最近も最先端の技術による地道な調査によって新発見がありました。

写真（上）の土器片も鑄物師屋遺跡のもので、土器の表面に文様とは違うくぼみ（穴）があることに気づきます。このくぼみにシリコンを入れ、そのシリコンを顕微鏡などで詳しく解析することで新たな発見があったのです（「レプリカ法」）。発掘調査から二十年後の再発見なのです。

土器に大豆や小豆が！



シリコンを取り出すと、ダイズだった！



5000年前の栽培を示す発見
写真の手前の土器についていたくぼみは「ダイズ」が入りこんでいた痕であることがわかりました。またほかの土器片にはアズキやエゴマのあとも発見でき、それらは栽培種であることも判明しました。

親しみやすく伝える



おなかに赤ちゃんが？！
土偶もよく観察するといろんなメッセージを読み取ることが出来ます。全国の土偶の中でもポーズをとる土偶は珍しく、すべて「出産」や「命」に関係していることがわかります。鑄物師屋遺跡の土偶も左手は赤ちゃんのいるおなかをさすり、右手は腰を押さえています。そしておなかには出べそと正中線という妊婦さんの特徴が描かれているのです。



ふるさと文化伝承館
エントランス展示
「縄文土器のデコボコの秘密」展
開期 十二月十六日（水）まで

地域を誇り、楽しむ

縄文土器の文様や装飾の数々、そしてダイズやアズキなどが発見された土器片と、実際に分析されたそのシリコンレプリカを初公開しています！



写真／文 文化財課
優しい空気に包まれます



本物の土器でシリコンの注入などが体験できます！



「土偶ちゃんパン」

小笠原地区のベーカリーグループさんの地域愛にあふれたパン。顔だけでなく、中身も曙大豆の餡と早川のエゴマを使っていて、まさに最新の調査成果を反映した、歴史に裏打ちされたパンなのです。

ニックネーム決定！

みなさまの投票で決定！
キャラクターも誕生！



『子宝の女神 ラヴィ』

土偶キャラクターで日本一を決める！
「全国どくキャラ総選挙」FINAL
②7 子宝の女神 ラヴィ
優勝争い中！
最終日は10月9日！
（どくの日）
みなさん投票をお願いします！
南アルプス市を日本一に！
投票はホームページで。右のQRコードか下のURLから。
<http://dogupota.net/dogusen2015>